



全国文化的景観地区連絡協議会

飯山大会開催

小菅山は戸隠、飯綱と並ぶ北信三大霊場として知られており、役小角（えんのおづめ）が白鳳8年（680年）に草創したとされています。かつて小菅には荘厳な僧房群が整然と建ち並び、戦国時代末期まで造営が続けられていました。栄華を極めた小菅山元

隆寺でしたが、川中島合戦の煽りを受け、武田方により奥社を残し焼失したとされます。その後、上杉方や当時の飯山藩主により再建が行われました。しかしながら、時代の変遷とともに僧房群は民家に代わり、満々と水をたたえていた南龍池も農地に転用されるなどしましたが、今でも当時の面影を色濃く残す風景や文化財、脈々と受け継がれている祭りが開催されています。

しかし、過疎高齢化が進展する中山間地域における文化財の維持管理は地元のみだけでは難しいことから、これらの文化財や景観を将来にわたって残していくために関係者が協力した結果、平成27年に「小菅の里及び小菅山の文化的景観」として、風景の国宝ともいわれる国の重要文化的景観に選定されました。文化的景観には現在全国で71件、県内では飯山市と千曲市（姨捨の棚田）の2件が選定されています。



パネルディスカッションでの意見交換



笹本正治氏による基調講演

全国文化的景観地区連絡協議会は、重要文化的景観を有する自治体等で組織され、地域住民との連携により本来のあるべき姿の構築のため先導的役割を果たすことを目的としており、本大会が15回目の開催となります。昨年度全国の会員が小菅に参集し、同大会を開催する予定でしたが、コロナ禍により延期となり、今年度飯山市文化交流館なちゅらで公開イベントをオンラインで放映する形となり、大会自体も縮小となりました。

10月14日に開催されたこの大会では、長野県立歴史館特別館長の笹本正治氏より「小菅の里の文化的景観と住民たち」と題して基調講演をいただきました。同氏は信州大学在籍中の平成11年から飯山市の文化財アドバイザーとして小

菅区との関わりがスタートし、以後、地元住民と深く親交を持ちながら、調査研究、書籍編さんなどを実施してきました。基調講演の中で、そうした自身の小菅との関わりを振り返りながら、小菅の魅力やその活かし方、未発掘の遺構群の活用等について提案していただきました。

関係者とのパネルディスカッションでは、これまでの取り組みや、今後の展開など全国の関係各位と意見交換をし、合理化の影で失われていった文化的景観の保全という目的のための情報共有ができました。また、オンラインの長所を活かし、より多くの全国の関係者に視聴いただき、文化的景観としての小菅の魅力を発信するよい機会となりました。



小菅集落の石垣

飯山雪国大学「地元学講座」現地学習

先人に思いはせ今年度は5地区を巡る

飯山市公民館では、地域に眠っている宝や生きるための知恵、その魅力や価値を正しく知りそして、その良さを発信したり、守り育てたりする活動へと発展させていくことを目的として「地元学講座」を今年度から開催しています。

この講座は、地域ごとに座学と現地学習を行い、元長野県立歴史館総合情報課長の宮下健司先生を講師にお迎えし、5月に柳原・富倉地区、6月に外様・太

田地区そして10月は岡山地区について講座を行います。

座学では飯山市公民館講堂を会場とし、宮下先生が収集した数多くの写真とともに地元学について学びました。

現地学習では、宮下先生と、地元の方からのお話を聞きながら、座学で学んだことを実際に見て地域を歩きました。神社や石碑を巡るほかに、外様ではかつて飯山藩の藩主や役人が田の

様子を見て歩いたと言い伝えられている「おまわりの道」とよばれた田んぼの中の道を歩いたり、岡山では牧峠を眺めながら、参加者は当時の暮らしや文化に思いをはせました。

講師の宮下先生は「飯山は歩くたびに発見がある。それを後世に伝えていくことが大事」と語りました。地元学講座は来年度も継続して開催し、座学と現地学習を実施する予定です。



かつて石炭を掘り出した跡の見学（富倉）



おまわりの道を歩く（外様）



上境城跡の空堀を歩いて学ぶ（岡山）

再度、鷹落山の頂上をめざして



今年も鷹落山からの絶景を見渡せました

10月24日、常盤公民館学習講座「山を歩こう!!」が今年も飯山市公民館との共催で行われました。前回の目的地が鷹落山だったため、今年はコースを変える計画もありましたが、昨年出られなかった人に加え昨年の参加者からも「もう一度鷹落山へ登りたい」という要望が多く寄せられたことから、2年連続での鷹落

山へのチャレンジとなりました。旧信濃平スキー場ゲレンデから黒岩山を登って鷹落山に入り、その頂上へ。30人の参加者が4.7kmのコースを、秋の陽射しを浴びながら踏破しました。常盤小学校スキークラブからは9人の児童に加えてコーチ・保護者も3人が参加。山の中腹や頂上から学校や自分の家をさがして楽しみました。この講座には地域の地理や自然に詳しい学識者の清水岩夫さん（常盤・小泉）も参加され、黒岩山の名前の由来や、黒岩山がギフチョウとヒメギフチョウの両方が生息する珍しい場所であること、主に木の上で生活し産卵も樹上で行うモリアオガエルの生息地でもあること、山自体が国の天然記念物に指定されていること、いくつかのおいしい湧き水があること、鷹落山の頂上から見た常盤の大地の様子などを説明してくださいました。参加者は頂上でサンドイッチを食べながら、市内有数の絶景スポットと言われる鷹落山からの景色を満喫しました。

飯山は宝の山 Ｕターン13年目に思う

瑞穂地区 鈴木 吉雄



さるの親が生きてる時だけ、子どもの特権だぞオヤジ」。息子の一言が背中を押した。その言葉忘れるなよ、と思いながらもちよつと頼もしかった。

夏はそれほどでもなかった介護も、さすがに冬は辛かった。認知症の母は別人になっていた。「歳をとるとこうなるんだ、しっかり見ておけよ」と言っているようだ。親は一生かけて子どもを教育するんだなと思つた。それから数年の後、両親を見送った。

さて、横浜へ戻ろうか迷った末、このまま定住と決めた。ここならあの草いされの匂いをいつもかぐことができる。単純な理由だが、うそと思われるかも知れないが、本当の話。

ある暑い夏の夕方、横浜は、とある下町の市営グラウンドで職場のソフトボール大会があった。ベンチに掛けていると西日に照らされた草むらから、草いされのあの青い匂いが漂ってきた。その時、故郷飯山の夏を思い出した。強い郷愁を覚えたものだった。

それから20年後、36年間働いた職場をやめて、飯山へ帰る事にした。母親の介護のためだ。「親孝行で

だ。離れていても家族は家族、東京まで1時間とちよいだ、いつでも会える。青い草の匂いが人生を変えてしまう事だつてあるのだ。

飯山の人々は親切で情け深い。18歳で出て行つた私にさえ「お帰り」の気持ちがあうれしかった。深い雪の中で春を待つ忍耐力が、この優しさを生むのだろう。こんな雪深い所になぜ暮らすのか、と問えば「春が来るからさ」とは哲学的ですらある。

四季それぞれに匂いがあり、それぞれの営みがある。冬…寒い朝ほど木に花が咲く、雪を逆手にとつての地域活性化、スキー、かまくら、雪まつり。春…とうたち菜、菜の花まつり、山菜採り、田休みの笹餅、やしよんま、おやき。夏…花火、太陽味のトマト、青く深い空、いもなます、エゴ、くじら汁、竹の子汁。収穫の秋…秋まつり、笹ずし、稲刈り後の田んぼから立ち昇る煙の匂い、干柿づくり、野沢菜づけ、かぞえ上げれば切りがない。

これら全てのものと営みが、大切な地域の宝物、飯

山の宝なのだ。季節を肌で感じる大自然の中での暮らしこそ人間らしい暮らしに思える。何でもあるかのようには錯覚していたあの都会暮らし、あれはひと時の夢だったのだろうか。若い頃見えなかったものがいま見えて来る。飯山というこの地域の人々が長い歳月を経て築き上げてきたかけがえのない営みと文化がここにある。飯山は宝の山だった。ここに生まれて本当に良かったと思う。

ところで、NPO法人ふるさと回帰支援センターという組織がある。今年で設立17年目を迎えるという。現在全国850の地域と連携して活動しているそう。もちろん飯山市ふるさと回帰支援センターもあり、2003年の開設以来移住者の受入れのためにさまざまな活動をされている。都市と農村との架け橋となり、地方の再生と地域の活性化のための活動を目ざしている。こうした活動を私は全面的に支持したいと思う。

先日、NHKラジオの深夜番組で理事長の高橋公氏

の話を聞いた。自治労の出身で、すばらしい経歴を持つ方でその人柄と話のおもしろさに聞き入ってしまった。この活動が全国的にもっとうねりのような大きな運動へと発展すれば日本は変わらなかつた。なぜなら日本全国には「宝の山」「宝の海」が無数に存在しているからだ。その無数の宝たちが生き生きと輝き始めたとき、この国の「かたち」さえも変える原動力となりうるような気がする。

これは、何の根拠もない持論だが、政府はもう少し農業政策に力を入れるべきと思う。農業は人が生きるために絶対に必要である。人は食べなければ死ぬのだ。自給率70%ぐらいまでは上げるべきだ。農業人口が増えれば農村は確実に変わる。日本は生まれ変わる。移住したい県、長野県は全国三位。農業移住に期待したいと、心から思う。

ともあれ、Ｕターンから13年目、これからもここ飯山で生きていきたいと思う。気の置けないすばらしい人たちと伴に。

飯山市公民館2階がワクチン接種の会場になります

市では新型コロナウイルス感染症対策として、この度3回目のワクチン接種を実施するにあたり、冬期間の利便性を考慮し飯山市公民館の2階を会場として実施することになりました。そのため、令和4年1月28日(金) から4月3日(日) まで飯山市公民館2階の全てがご利用いただくことができなくなります。

日頃より当館をご利用いただいている皆さまには何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

問 飯山市公民館 ☎ 62-3342 年末年始休館



市民ギャラリー 展示作品募集中！

市民ギャラリー【公民館廊下や図書館通路側入り口ガラスケース内】に展示する作品を募集しています。

個人・団体・学校・施設等は問いません。絵画、書、ハンドメイド作品ほか、皆さまの日頃の成果を発表する場としてご活用ください！

お申込み、お問合せは美術館受付カウンターまでお越しいただくか、電話にて受け付けています。

問 飯山市美術館 ☎ 62-1501 月曜休館（月曜祝日の場合は翌日）



公民館廊下の市民ギャラリーでの展示



冬季企画展

平安時代の葬送とお墓

ー飯山市の発掘調査からー

平安時代のお墓に焦点をあて、発掘調査によって得られた成果を出土資料等により公開します。飯山市の歴史・文化を知っていただくよい機会ですので、ぜひご覧ください。



北原遺跡の合口甕棺墓（あわせぐちかめかんぼ）

【開催期間】 12月11日(土)～令和4年1月30日(日)
【開館時間】 9:00～17:00(入館は16:30まで)
【会場】 飯山市ふるさと館企画展示室
【入館料】 大人200円 小中学生100円(市内小中学生は無料)

問 飯山市ふるさと館 ☎ 67-2030 月曜休館（月曜祝日の場合は翌日）

参加者募集

ふるさと館たいけん工房⑧

～お正月に向けて～ しめ縄作り

今年もしめ縄はやっぱり手作りで！



◇日時 12月18日(土) 10:00～11:30
◇対象 市内小学生以上
(大人・親子もご参加いただけます)
◇定員 20名 ◇参加費 無料
◇持ち物 はさみ
◇申込締切 12月12日(日)
◇申込先 飯山市ふるさと館 ☎ 67-2030

飯山の文化財

堂平から出土した仏像（市内個人蔵）



飯山地区の旧堂平集落にほど近い坪根城の麓、「五輪でら」と呼ばれる場所から出土した像。

仏像と伝わるが、神像のようにもみえる。像の背後に江戸時代の通貨・寛永通宝を利用している。堂平という地名は仏教に由来したものともいわれ、かつての信仰の姿が想像される。

11月28日(日)まで、ふるさと館で展示中。

「村史ときわ」を読む会



常盤の歴史を熱心に学ぶ参加者

有史以来の常盤の歴史をまとめた地域の歴史書「村史ときわ」。常盤公民館では、1600^年にも及ぶこの村史をより多くの人に読んでいただくため、そしてより深く読んでいただくため、平成28年度から学習講座「村史ときわを読む会」を、河内八郎記念文庫運営委員会との共催で開催しています。今年も、同会の委員長の常盤井智行さんを講師に10月15日と22日に開催しました。

毎年「今年はこの章を読もう」と決め、読んだ後には質問や議論の時間も設けていますが、今回選ばれたのは常盤小学校に関する章。数年後に小学校の統合・再編が計画されていることから住民の常盤小学校への想いが強くなっている、ということも踏まえての選択でした。

明治23年の常盤尋常小学校の創立までの動きとその後歩みに加え、世界が戦争に飲み込まれていくなかで教育の内容や方向が国家主義的な色合いを帯びていく流れなどにも触れられ、参加者は時には深刻な表情を浮かべながらも熱心に学習していました。

この村史の編纂の中核的な役割を担った故・河内八郎先生（元茨城大学教授）が生前に口癖のように言っていた言葉が、「歴史から学ぶ」。それはこの「村史ときわを読む会」のモットーにもなっていますが、参加者からその姿勢がひととき強く感じられた今年の講座でした。



地区館情報

飯山公民館
☎ 3342

◇寺めぐりハイキング

10月17日、雨の開催となりましたが19名の参加をいただきました。写体体験では、写した仏様をお守りにしていただき、よい記念になりました。

◇老燃教室修了式

10月27日に閉講式を行い、今年度の老燃教室は終了しました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全13回の講座は7回開催となりましたが、来年度もますます元気に燃え上がりましょう。

◇お正月飾り作り

日時 12月5日(日)
午前9時～11時30分
場所 飯山市公民館
参加費 300円

瑞穂公民館
☎ 2501

◇瑞穂地区文化祭開催

10月31日から11月6日にかけて瑞穂地区活性化センターで『瑞穂地区文化祭』が開催されました。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2階大広間で学童、園児や一般の方々の作品展示を約1週間にわたり展示しました。



作品展示は今年も一週間展示しました

定員 20名（小学3年生までは保護者同伴でお願いします）
締切 11月26日(金)
申込先 飯山公民館
手作りのお正月飾りを作ってみませんか。



菊の花出展者の皆さん

活性化センターの玄関わきには、例年の通り地区盆栽クラブの皆さんに加えて、菊づくり講習会の参加者の力作の菊の花も含めて展示しました。

駐車場付近では、来年入替え予定の消防自動車の展示も行われ、子どもたちが運転席に乗って写真を撮ってもらいました。

来年こそはフルコースの文化祭ができればいいねと皆さん会場を後にされました。

◇年越しそば打ち講習会

11月28日(日)午後3時から恒例の、『年越しそば打ち講習会』を予定しています。

柳原公民館
☎ 5562

◇柳原地区文化祭開催

10月23日・24日と柳原地区文化祭が盛大に開催されました。今年の文化祭は感染対策をしっかりと行い展示のみというかたちで開催しました。

コロナ禍ということもあり、地区サークルの活動が縮小傾向でしたが、いままでも出展されたことのない方々からの申し出もあり、例年以上の展示となりました。2日間で延べ110人の来場者があり、ハロウィーンの仮装をした子どもたちが会場を賑わせてくれました。



ハロウィーンの仮装の子どもたち

◇柳原地区人権・男女共同参画学習会

学習会ではDVD作品の視聴を行い、次に今年の小中学生の作文集を講師先生から発表いただきました。地域で人権を考えるよい機会ですので、ぜひお出かけください。

日時 12月9日(木)
午後6時30分から
場所 柳原公民館

外様公民館
☎ 1029

◇第71回外様地区文化祭開催

10月23日・24日の2日間、「作品展示」のみ開催となりました。

地元の保育園、小学校、中学校の子どもたちの力作や、地区の皆さんの絵画、華やかな生け花などがあり、コロナ禍ではありますが大勢の皆さんにご来場いただきました。

◇高齢者と子どもの集い「しめ縄を作る」

来年は例年通りの盛りだくさんの内容の文化祭ができるよう、願うばかりです。

自分で作ったしめ縄を

飾ってお正月を迎えませんか。お子さん、お孫さん、ご近所お誘い合わせてご参加ください。

日時 12月5日(日)
午前9時から
場所 外様公民館
詳しくはチラシをご覧ください。



作品展示のみ開催されました

太田公民館
☎ 4579

◇太田地区文化祭・ゲートボール大会開催

10月24日から29日まで地区の方の作品展示を中心に開催しました。

展示した作品はどれも手の込んだもので見事なものでした。

また、太田地区安協・公民館共催のゲートボール大

岡山公民館
☎ 2010

◇地元学講座「岡山地区の歴史を学ぶ」開催

飯山市公民館と共催で開催された地元学講座。10月10日の講演会には、総勢62名の参加者がありました。宮下健司先生を講師に迎え、岡山地区の歴史をわかりやすく学ぶことができました。土倉、西大滝の六地藏、馬頭観音等、知らない時代のことが講演されて皆さん感心していました。千曲川の渡し船で結婚式をされた花嫁様に会場へお越しいただき、会場も和やかに、楽しい講演会でした。



作品展示は力作が並びました

会も実施され、多くの方に来場いただきました。



約 350 枚の写真をもとに講演されました

また、10月31日には、地元学講座現地学習が開催され、熊野神社、上境城跡や白山神社を巡りました。現地学習については21ページもご覧ください。



秋晴れの中、現地学習ができました

移動図書館車ゆきつばき号 巡回日程表

【令和3年12月・令和4年1月】

	1コース 水曜日 北原・常盤方面	2コース 金曜日 戸狩・西大滝方面	3コース 水曜日 温井・秋津方面	4コース 金曜日 太田・富倉方面
サービスステーションへの巡回時間	北原コミュニティセンター 10:00～10:20 ↓ 戸隠農業生活改善センター 10:30～10:50 ↓ 下水沢公民館 10:55～11:15 ↓ 小沼倉科商店前 11:20～11:40	老人ホームてるさと 10:00～10:20 ↓ 戸狩区コミュニティセンター 10:30～10:50 ↓ 大深みつや前(旧JA倉庫) 10:55～11:15 ↓ Aコープみゆき店 11:30～11:50	温井多目的交流センター 10:00～10:20 ↓ 蕨野 ふるさと館 10:30～10:50 ↓ スキー場五荷駐車場 10:55～11:15 ↓ 顔戸公会堂 11:25～11:45	外様活性化センター 9:50～10:10 ↓ 今井生活改善センター 10:30～10:50 ↓ 柳沢公会堂 11:00～11:20 ↓ 小境北停留所(1～3月休止) 11:25～11:45
	ふっくら工房ふるさと前 13:20～13:40 ↓ 坂井多目的集会所 13:45～14:05 ↓ 戸那子構造改善センター 14:15～14:35 ↓ 福島生活改善センター 14:45～15:05 ↓ 神戸公民館 15:15～15:35 ↓ 関沢農業生活改善センター 15:45～16:05 ↓ 常盤小学校 16:15～16:35	西大滝農村研修集会施設 14:00～14:20 ↓ 藤沢多目的集会所 14:25～14:45 ↓ 桑名川 馬場集会所 14:50～15:10 ↓ 岡山地区活性化センター 15:15～15:35 ↓ 桑名川 和水研修集会所 15:40～16:00	中山根集落センター 13:25～13:45 ↓ 上組集落センター 13:55～14:15 ↓ 深沢農業生活改善センター 14:25～14:45 ↓ 新田公会堂 14:50～15:10 ↓ 秋津中央区集会所 15:20～15:40 ↓ 大久保地域交流センター 15:45～16:05 ↓ 中町地域交流センター 16:10～16:30	富倉地区活性化センター 13:40～14:00 ↓ 藤ノ木活性化支援センター 14:20～14:40 ↓ 笹川公民館 14:50～15:10 ↓ 南条農業生活改善センター 15:15～15:35 ↓ 小佐原農業生活改善センター 15:40～16:00 ↓ 曙町 水上団地集会所 16:10～16:30
	巡回日 12月1日・15日 1月5日・19日	巡回日 12月3日・17日 1月7日・21日	巡回日 12月8日・22日 1月12日・26日	巡回日 12月10日・24日 1月14日・28日

※令和4年2月以降の巡回日程等は1月号に掲載予定です

旬の本☆話題の本☆意外な本

らいぶらり
ブックレビュー

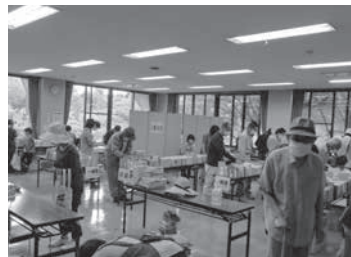
干す
日本の天日干しをめぐる



光村推古書院

西村 豊 写真・文

書名のとおり、日本の天日干しを写真におさめている。食すもの、身につけるもの、使うもの。凍てつく寒さを利用し、吹き抜ける風を使いあらゆるものを「干す」。美しい写真は、「干す」を生活の術にしてきた人々の暮らし(知恵)そのものを写し撮っている。この文化を誇りたく……なる。



▲「本のリサイクル市」会場は開館と同時に満員御礼でした

としょかんまつり
10月2・3日に学びのエリア秋まつりに併せて『としょかんまつり』を開催しました。昨年に続き規模を縮小しての開催となりました。今年、主要イベントの「本のリサイクル市」では、前日までに市民の皆さまから、たくさんのお本をいただきました。心からお礼申し上げます。

当日は朝から大勢の皆さまにご来館いただき、会場は大盛況でした。ほかに「おかしつり」や「紙工作」などのイベントも開催され、親子で楽しんでいる様子が見られました。お天気も良く秋のひととき、楽しい時間が過ごせたのではないのでしょうか。ご来館いただいた皆さまには、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力いただきありがとうございます。



▲移動図書館車の模型も大人気！



▲第1回は0歳からの絵本を紹介

親と子の絵本講座
10月の木曜日に「親と子の絵本講座」を開催しました。全4回、延べ9組の親子にご参加いただき、絵本の選び方から読み聞かせのポイントまで、司書が実践を交えてお話ししました。今回の講座を通して、絵本との関わり方を学ぶ良い機会になったようでした。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございます。

新着図書案内

趣味・実用	よみもの	郷土	信濃毎日新聞社
情報正しく選択するための認知バイアス事典 セルフ・マインド・マネジメント 図解まるわかりDXのしくみ 伴走型支援 トットちゃんと訪ねた子どもたち 子どもたちがつくる町 脱炭素革命への挑戦 全図解メーカーの仕事 世界「失敗」製品図鑑 寅を描く 世界ピクト図鑑 富士山八十八景 みんなで楽しむeスポーツ 日本語をもっとつかまえる！	虚空へ あのころなにしてた？ 三十の反撃 舞風のごとく ペッパーズ・ゴースト 子供は怖い夢を見る あの春がゆきこの夏がきて さよならも言えないうちに チグリスの雨 あかずの扉の鍵貸します 7・5グラムの奇跡 居酒屋「一服亭」の四季 カミサマはそつけない 北緯43度のコールドケース 星を掬う オリンピックにふれる	信州国鉄の風景 吉田修一	情報文化研究所 濱田恭子 西村泰洋 奥田知志 田沼武能 村上靖彦 堅達京子 山口雄大 荒木博行 水墨画塾編集部 児山啓一 バイナリーナショナル 田養健太郎 飯間浩明

＊図書館からのお知らせ＊

◆図書館のエレベーターは更新工事のため、下記のとおりご利用を一時停止させていただきます。
大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

エレベーター停止期間
11月9日(火)～12月16日(木)

◆クリスマスおはなし会の開催および準備に伴い12月4日(土)終日と、5日(日)午前は3階多目的室のご利用ができません。
大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

図書館
ニュース

◇12月図書館カレンダー◇

1	水	移動図書館車①北原・常盤
2	木	10:30 絵本とわらべうたの会
3	金	移動図書館車②戸狩・西大滝
4	土	
5	日	10:30 クリスマスおはなし会
6	月	休館日
7	火	
8	水	移動図書館車③温井・秋津
9	木	10:30 絵本とわらべうたの会
10	金	移動図書館車④太田・富倉
11	土	
12	日	10:30 ～ブックスタート
13	月	休館日
14	火	
15	水	移動図書館車①北原・常盤
16	木	10:30 絵本とわらべうたの会
17	金	移動図書館車②戸狩・西大滝
18	土	
19	日	10:30 ～おはなしひろば
20	月	休館日
21	火	
22	水	移動図書館車③温井・秋津
23	木	10:30 絵本とわらべうたの会
24	金	移動図書館車④太田・富倉
25	土	
26	日	10:30 ～おはなしひろば
27	月	休館日
28	火	
29	水	年末年始休館 (12/29～1/4)
30	木	
31	金	

□の日は休館です

＊開館時間と休館日＊

【開館時間】
火～金 9:30～18:00
土・日・祝 9:30～17:00
【休館日】
月曜(祝日の場合は翌平日)
年末年始・蔵書整理期間等

【市立飯山図書館 ☎ 62-1118】